

# 集団的自衛権 広がる疑問

論点検証  
三原啓子

## 米艦防護 首相と防衛相、答弁迷走

新たな安全保障関連法案について、与党は今年月中旬にも参議院の採決をめざす方針だ。だが、参議院の審議では、法案の必要性や憲法との関係などが争点となっており、安倍首相も政府の答弁が衆議院段階と食い違ったりも出ている。疑問はむしろ広がっている。これまでの質疑の論点を6回にわたって検証する。初回は、法案の根幹となる集団的自衛権の行使をめぐる議論を考へる。

集団的自衛権の行使は、参議院でも主要な論点となった。特に目立ったのは、安倍首相が答弁した行使の代表的な事例で、政府側が「食いつたたりするケースが相次いだ」と述べたことだ。首相は昨年7月、集団的自衛権の行使を認める閣議決定後の会見で、日本人が乗る米国の輸送艦が他国から攻撃を受けるパナマを掲げ、こう訴えた。「我が国への攻撃ではないが、それ

でも日本人の命を守るため、自衛隊が米国の船を守る。それをできるような状況が今の閣議決定だ」と述べた。野党は今年8月20日の参議院特別委員会で「退避する邦人が米軍艦に乗っていること」が「存立危機」なのだと指摘。首相は「存立危機」の定義が「武力行使の新たな条件となる武力行使の新しい要件」を掲げたいと述べた。この際の中谷元・防衛相

の答弁は、首相の説明とは食い違った。「邦人が乗っているかは判断の要素の一つではあるが、絶対的なものではない」とし、退避する日本人を守るというだけでは集団的自衛権の行使ができないことを認めた。首相が示したパナマについても、中谷氏は「存立危機事態と認定されれば可能になる」と説明するために使われたと答弁。日本人保護とは別の理由で、集団的自衛権が使える存立危機事態と認定し、米艦を守る」と説明した。だが、何が認定の理由になるかは「総合的に判断する」と述べた。首相が「明言しなかった」。

首相が集団的自衛権による米艦防護の具体例として挙げた、朝鮮半島有事でミサイル防衛にあたる米艦を守るケースについても、政府答弁は揺れ動いた。野党は8月4日の特別委員会で、「米イージス艦が日本に助けを求めなければならぬような、少ない

### 政府が示した邦人 送中の米艦防護

「海外で突然紛争が発生し、日本人を米艦が救助・輸送しているとき、日本近海で攻撃を受けるかもしれない。日本人の命を守るため、自衛隊が米国の船を守る。それをできるようにするのが今回の閣議決定だ」(14年7月1日の記者会見)

「退避する邦人が米軍艦に乗っていること」が「存立危機」なのか(15年8月25日参院特別委、民主・大野元裕氏) 野党

「邦人が乗っているかは判断の要素の一つではあるが、絶対的なものではない」(8月26日参院特別委) 中谷元・防衛相

### 中東を航行する邦人の自衛隊防護

「(仮想封鎖で)我が国が武力攻撃を受けた場合と同様な深刻重大な被害が及ぶことが明らかな状況。石油が途絶え、ガスも途絶えてしまうと、最悪の時に生命自衛が免れなくなる」(7月30日参院特別委)

「(イランによる電雷敷設は)全く根拠がないことだ」(7月23日記者会見) 駐日イラン大使

「ホルムズ海峡の内側から海峡の外側に向けて2本のパイプラインがある」(8月3日参院特別委)

「艦隊が言う国民の生命が根拠から覆されるか極めて疑問だ」(8月3日参院特別委、維新・藤巻健史氏) 野党

### 視点 政府の理屈に無理がある

首相の答弁を、安保法案を担当する防衛相がひっくり返す。こうした迷走が続いているのは、「自衛隊を守るための集団的自衛権」という政府の理屈に無理があるからだ。国連憲章で認められた集団的自衛権の本質は、攻撃を受けた他国を守ることにある。

首相は「日本人を乗せた米国の船を守る」と訴えたが、この例で集団的自衛権を使えるかどうかと、日本人の乗船は直接関わりはない。海外での電雷敷設も、日本が直接攻撃を受けていないのに「存立危機」として他国での戦争に首を突っ込むことにはかならない。

答弁が上書きされるたび、法案の問題点が浮き彫りになってきている。(山田明宏)

### 機雷除去 ホルムズ海峡の現実味

政府が外国の領域での集団的自衛権行使の唯一の具体例として、中東・ホルムズ海峡での機雷除去にも必要性を強調する方針だ。政府は中東で紛争が起き、輸入原油の約8割が通るホルムズ海峡に機雷が通る恐れがあるとして、機雷除去の必要性を強調する方針だ。政府は中東で紛争が起き、輸入原油の約8割が通るホルムズ海峡に機雷が通る恐れがあるとして、機雷除去の必要性を強調する方針だ。

### 武力行使の新しい要件

安全保障関連法案に盛り込まれた集団的自衛権を使う際の前提となる条件。① 国連憲章第51条に定められた他国からの武力攻撃に必要最小限度の武力行使に代わる② 必要最小限度の武力行使に代わる③ 必要最小限度の武力行使に代わる

民の生命、自由及び幸福追求の権利が根底から覆される明白な危険がある(存立危機事態)④ 我が国の存立を全うし、国民を守るために他に適当な手段がない⑤ 必要最小限度の武力行使に代わる⑥ 必要最小限度の武力行使に代わる

「これに対し首相は「米艦」を例に挙げた。だが、ホルムズ海峡に機雷敷設されることを想定しているわけではな

「これは対し首相は「米艦」を例に挙げた。だが、ホルムズ海峡に機雷敷設されることを想定しているわけではな

「これは対し首相は「米艦」を例に挙げた。だが、ホルムズ海峡に機雷敷設されることを想定しているわけではな

「これは対し首相は「米艦」を例に挙げた。だが、ホルムズ海峡に機雷敷設されることを想定しているわけではな

「これは対し首相は「米艦」を例に挙げた。だが、ホルムズ海峡に機雷敷設されることを想定しているわけではな

「これは対し首相は「米艦」を例に挙げた。だが、ホルムズ海峡に機雷敷設されることを想定しているわけではな

「これは対し首相は「米艦」を例に挙げた。だが、ホルムズ海峡に機雷敷設されることを想定しているわけではな

9/4 草月